

「BCPセミナー」の開催および 「事業継続マネジメント簡易診断サービス」の取扱いについて

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、2023年5月に損害保険ジャパン株式会社（取締役社長 石川 耕治）と締結した「地域のサステナビリティ推進に関する包括連携協定」に基づき、同社と連携して「BCPセミナー」を開催いたします。また、2024年4月より「事業継続マネジメント簡易診断サービス」の取扱いを開始しておりますのであわせてお知らせいたします。

激甚化・頻発化する自然災害や新型コロナウイルスをはじめとする感染症の流行等の影響から、企業の事業継続マネジメントの必要性は高まっており、当行では、本セミナーの開催により有益な情報をご提供するとともに、本サービスを通じてお客さまの持続的成長をサポートしてまいります。

当行は、今後も事業者の皆さまの事業継続へのご支援を通して、地域経済の活性化に貢献してまいります。

記

1 BCPセミナーの概要

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 2024年7月11日（木） 14:00～15:30 |
| 会場 | 秋田市中通6丁目1-13 パーティーギャラリー イヤタカ 4階ジョージアンホール |
| 内容 | BCPセミナー ～気候変動と災害への備え、BCPで対応力強化～ 【講師】SOMPOリスクマネジメント株式会社 経営戦略本部 執行役員 篠目 貴大 氏 |
| 参加費 | 無料 |
| 申込方法 | 別紙「セミナーチラシ」をご参照のうえ、Webにてお申し込みください。 |
| 主催 | 株式会社秋田銀行、損害保険ジャパン株式会社 |

2 事業継続マネジメント簡易診断サービス

(1) 概要

| | |
|--------|--|
| 名称 | 事業継続マネジメント簡易診断サービス |
| サービス内容 | 内閣府の事業継続ガイドライン等をベースに、防災への取組みや有事の行動計画等6項目で構成されており、各設問をお客さまにご回答いただくことにより取組み度合いを診断し、コメントやレーダーチャートが表示されます。 |
| 費用 | 無料 |
| 申込方法 | 当行各営業店窓口へお申し出ください。 |

(2) 診断イメージ

ヒアリングシート

| 項目 | 質問事項 | 回答 |
|------|-------------------------------------|--------------------|
| 1-1 | 防災計画の策定状況についてお聞きします。 | 策定済み、定期見直しあり |
| 1-2 | 防災計画の策定に際しては、関係部署との連携をどのように図っていますか？ | 関係部署との連携を密に図っています。 |
| 1-3 | 防災計画の策定後、定期的な見直しを行っていますか？ | 定期的に見直しを行っています。 |
| 1-4 | 防災計画の策定後、関係部署との連携をどのように図っていますか？ | 関係部署との連携を密に図っています。 |
| 1-5 | 防災計画の策定後、関係部署との連携をどのように図っていますか？ | 関係部署との連携を密に図っています。 |
| 1-6 | 防災計画の策定後、関係部署との連携をどのように図っていますか？ | 関係部署との連携を密に図っています。 |
| 1-7 | 防災計画の策定後、関係部署との連携をどのように図っていますか？ | 関係部署との連携を密に図っています。 |
| 1-8 | 防災計画の策定後、関係部署との連携をどのように図っていますか？ | 関係部署との連携を密に図っています。 |
| 1-9 | 防災計画の策定後、関係部署との連携をどのように図っていますか？ | 関係部署との連携を密に図っています。 |
| 1-10 | 防災計画の策定後、関係部署との連携をどのように図っていますか？ | 関係部署との連携を密に図っています。 |

【チェック項目】

- ① 経営層の関与 (5問)
- ② 防災の取組み (10問)
- ③ 事業継続の取組み (10問)
- ④ 有事の行動計画 (10問)
- ⑤ 教育・訓練ならびに点検・見直し (10問)

結果報告シート

結果報告シート

A B C株式会社 御中 BCM現状診断 結果報告シート

<総合コメント>

【コメント内容】 高評価していただきありがとうございます。BCM-BCMとして体系的に取組むべき事項はおおよそ網羅されています。

- 経営層の関与も確認でき、BCMの推進体制も良好です。
- 防災の取組みも良好です。今後さらに充実させることを期待します。
- 事業継続の取組みが不足している結果となりました。＜参考情報1＞に記載の通り、防災はBCPは不可欠な要素となりますが、目的が異なるので、異なるステップアップして事業継続の取組みを検討されることをお勧めします。
- 事業継続計画のロードマップも作成されています。
- 組織訓練や教育訓練などの防災訓練も実施されていますので、今後よりレベルの高い訓練に取り組まれることをお勧めします。

<あなたの得点>

合計点 78 / 100

| 分類 | 点数 | 割合 | 得点率 |
|------------------|---------|-----|-----|
| 1. 経営層の関与 | 9 / 10 | 90% | 90% |
| 2. 防災の取組み | 24 / 30 | 80% | 79% |
| 3. 事業継続の取組み | 19 / 20 | 95% | 79% |
| 4. 有事の行動計画 | 14 / 20 | 70% | 79% |
| 5. 教育・訓練及び点検・見直し | 14 / 20 | 70% | 79% |

※各カテゴリの最高得点は50点です。

※この診断はシミュレーションです。

<参考情報1> BCP/BCMを推進するためのポイント

【1】BCP/BCMに前向きに取り組む

・コストのかかる防災対策として、あるいは取引先から要請されたからといった後ろ向きに取り組むのではなく、安全安心な職場としての魅力向上や、自社の強靱性向上による競争力の拡大など、BCP/BCMには平時の経営上のメリットを大いに活用し、前向きに取り組むべきです。

・また、BCP/BCMに取り組むことで、＜参考情報2＞に示すような信頼度の向上も期待できます。

【2】防災とBCPの両方を理解する

・防災とBCPの両者は、活動内容は不可分ですが目的が異なるので、両者は人命安全・会社資産を守ることで、両者は重要な事業の継続や早期復旧による、顧客と自社経営を守るための目的です。

・防災の取組みが不十分だと、従業員に被害が発生するなどで、BCP活動に悪影響が及ぶ恐れがありますので、まずは防災の取組みから取り組んでください。

【3】事業部門で防災トップを巻き込む

・BCPは自社の事業を継続対象とするので、「防災の延長上から」経営・管理部門だけでやるものではありません。事業部長や営業部長にBCPの必要性を説明し、事業部門が主体的に認知する検討姿勢を促しましょう。

・なお、優先して継続・再開すべき業務の選別や復旧順序の決定などのBCPの検討は、全社的な経営戦略を軸とする。経営トップ、現場に密着した取り組みが重要です。

【4】代替による事業継続を積極的に検討する

一般的には、代替品を探す検討対象となる方法ですが、代替による継続も検討しましょう。自社内代替（類似品調製工場での代替生産・販売等）に加え、協力会社といった社外リソースによる代替（生産委託）も考えられます。遠方の同業者と、非常時の連携に協定を結ぶ共同拠点を拡大も行う検討があります。

（例1） 化粧品企業：静岡県A社・北海道B社

（例2） 飲食店企業：東京都C社・新潟県D社

<参考情報2> 「事業継続力強化計画認定申請書」に記載が求められる項目

「事業継続力強化計画認定申請書」は経済産業省が定めた認証、認定された計画は次のようなメリットがあります

- ・国の補助金等の補助金申請等に有利な効果
- ・税制優遇（取得設備のCO2削減効果あり）
- ・金融支援（低利融資や信用保証）

| 主な評価項目 | 該当する評価項目等 |
|-----------------------|------------------------------|
| 社会的意義等の効果 | — |
| 事業継続力強化に貢献する目的 | ＜参考情報1＞の【1】 |
| 自然災害等の発生 | 2-1 |
| 自然災害等の発生が事業継続に与える影響 | 3-2/ 3-3 |
| 自然災害発生した場合の対応策 | — |
| ・人命の確保 | 2-5/ 2-6/ 2-10/ 4-1 |
| ・被害の最小限に抑える | 2-7/ 4-2/ 4-3/ 4-4/ 4-5 |
| ・被害の回復、事業継続の確保 | 2-8/ 2-9/ 4-6/ 4-7/ 4-8/ 4-9 |
| 事業継続力強化に資する対応及び取組 | — |
| ・備蓄品の確保 | 3-7 |
| ・事業継続力強化に資する設備、施設等の確保 | 2-2/ 2-3/ 2-4/ 3-8 |
| ・事業継続力強化に資する設備、施設等の確保 | 3-10 |
| ・事業継続力強化に資する設備、施設等の確保 | 3-5/ 3-6 |
| ・事業継続力強化に資する設備、施設等の確保 | 1-1~1-5/ 5-1~5-10 |
| 事業継続力強化に資する設備、施設等の確保 | — |

(以上)

【2024年7月11日（木）開催】

秋田銀行 × SOMPO

BCPセミナー ～気候変動と災害への備え、BCPで対応力強化～

- ✓ 秋田県における記録的豪雨を振り返るとともに、地震リスクにも目配りを
- ✓ BCPはなぜ必要か？

日時 2024年7月11日（木） 14:00～15:30

■ BCPセミナー ～気候変動と災害への備え、BCPで対応力強化～

プログラム

- ①気候変動のトレンド ～記録的豪雨から1年、風水害に備えるには
- ②忘れてはいけない地震リスク ～能登半島地震からわかること
- ③BCPの必要性、策定のメリット、“ジギョケイ(※)”へのチャレンジ
(※)ジギョケイ：中小企業庁が制度化した事業継続力強化計画の略称で、BCP策定の始めの一歩として取組みを推奨

会場

パーティーギャラリー イヤタカ 4階ジョージアンホール
〒010-0001
秋田市中通6丁目1-13

無料

先着80名

登壇者

SOMPOリスクマネジメント株式会社
経営戦略本部
執行役員 篠目 貴大 氏



【経歴】

平成元年4月 安田火災海上保険(株) (現 損害保険ジャパン(株)入社)
平成10年4月 安田リスクエンジニアリング(株)へ出向 (現 SOMPOリスクマネジメント(株))
令和3年4月 現職

【専門分野】

- ・損害保険全般 ・地震、水災等、自然災害リスク定量評価
- ・企業のBCP・BCM策定コンサルティング及び教育訓練コンサルティング
- ・地方自治体の危機管理に関するコンサルティング及び教育・訓練

【社外活動】

- ・特定非営利活動法人日本危機管理士機構 理事
- ・日本経済団体連合会(経団連)「危機管理・社会基盤強化委員会」企画部会 委員

お申込み方法

お申込み期限（7月5日）までに、以下にご案内のQRコードから必要情報を入力のうえ、お申込みをお願いいたします。
なお、定員数に到達した場合は、ご参加いただけない可能性がございます。
お早めにお申込みいただきますようお願いいたします。

【お申込み用QRコード】



【お申込み期限】

7月5日（金）

<お問い合わせ先>

株式会社秋田銀行 営業支援部（担当：高橋） Tel：018-863-1212（代表） Mail：abk884-01@akita-bank.co.jp